

尾花沢市統合小学校建設工事基本設計（概要版）

1. 敷地概要・計画概要

（1）敷地概要

計 画 地 大字尾花沢字中新田地内
敷地面積 34,827.40㎡
用途地域 都市計画区域内 指定なし
防火指定 指定なし
高さ制限 なし
日影制限 なし

（2）計画概要

主 用 途 小学校
構 造 校舎棟：鉄筋コンクリート造
交流棟：木造、鉄骨造
体育館棟：鉄筋コンクリート造、鉄骨造
建物高さ 校舎棟：16.60m
交流棟：10.65m
体育館棟：16.70m
建ぺい率 13.17%
建築面積 4,587.55㎡
延床面積 8,870.60㎡

（3）学校規模

開校時（令和9年度）の尾花沢市の児童数（約440人）に応じた規模とし、児童数の変化や維持管理等の長期的な負担を考慮しながら合理的に整備します。

学級数：22（普通教室：17、特別支援教室5）を想定します。

2. コンセプト・基本方針

尾花沢市学校教育全体構想の教育目標である『幼保・小・中が連携し、人間力に満ちた子供の育成』を実現するため、『学ぶ力 豊かな心 健やかな身体を育む学校』をコンセプトにした学習環境を整備します。

学校施設整備の方向性

- ①「学習」…個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現します。
- ②「生活」…新しい生活様式を踏まえ、健やかな生活空間を実現します。
- ③「連携・協働」…地域や社会とともに創造する連携・協働空間を実現します。
- ④「安全・安心」…子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現します。
- ⑤「環境」…脱炭素社会の実現に貢献する持続可能な教育環境を実現します。

3. 配置計画

◆学習環境の変化に柔軟に対応できる『フレキシブルスクール』

○柔軟性や多様な学習環境を生み出す「コンパクト分棟方式」

- ・様々な学習環境の変化や改修などにも容易に対応できます。
- ・各部屋に自然光が入りやすいように、校舎棟、交流棟、体育館棟の3棟からなる分棟形式とします。
- ・地域に開放する交流棟と体育館棟を分離することで管理区分を明確にします。
- ・校舎棟の1階に管理部門と教育相談室、通級指導教室、調理室、2階と3階に普通教室と特別教室を配置します。
- ・交流棟の1階に放課後児童クラブ、2階に地域に開放できるランチルーム兼多目的ホールを設置します。

○明確なゾーニングからなる多様な学習空間

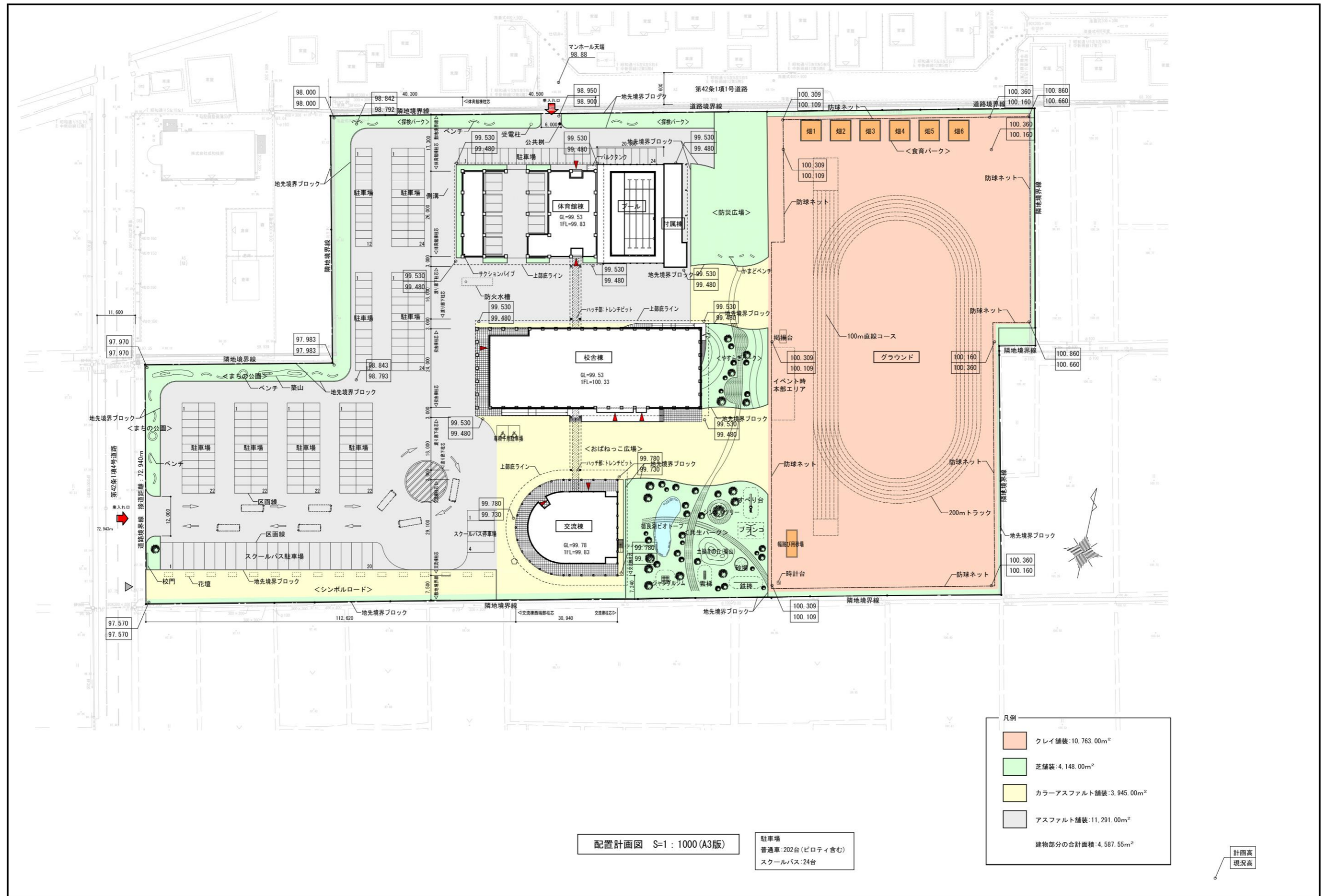
- ・学年単位の活動等を考慮し、同一学年が同一階、同一区画とします。
- ・普通教室に多目的スペースを隣接させ、個々やグループでの多様な学習や学年全体で利用ができるように計画します。
- ・特別支援教室は各階に設け、各学年との連携が図られるようにします。
- ・通級指導教室と教育相談室を保健室や職員室に近接して1階に配置します。
- ・職員室は安心・安全に配慮し、昇降口やグラウンドを目視できるようにします。

○児童の活動と学びをつなぐ中心空間『ラーニングコモンズ（読書・学習・情報のセンター）』

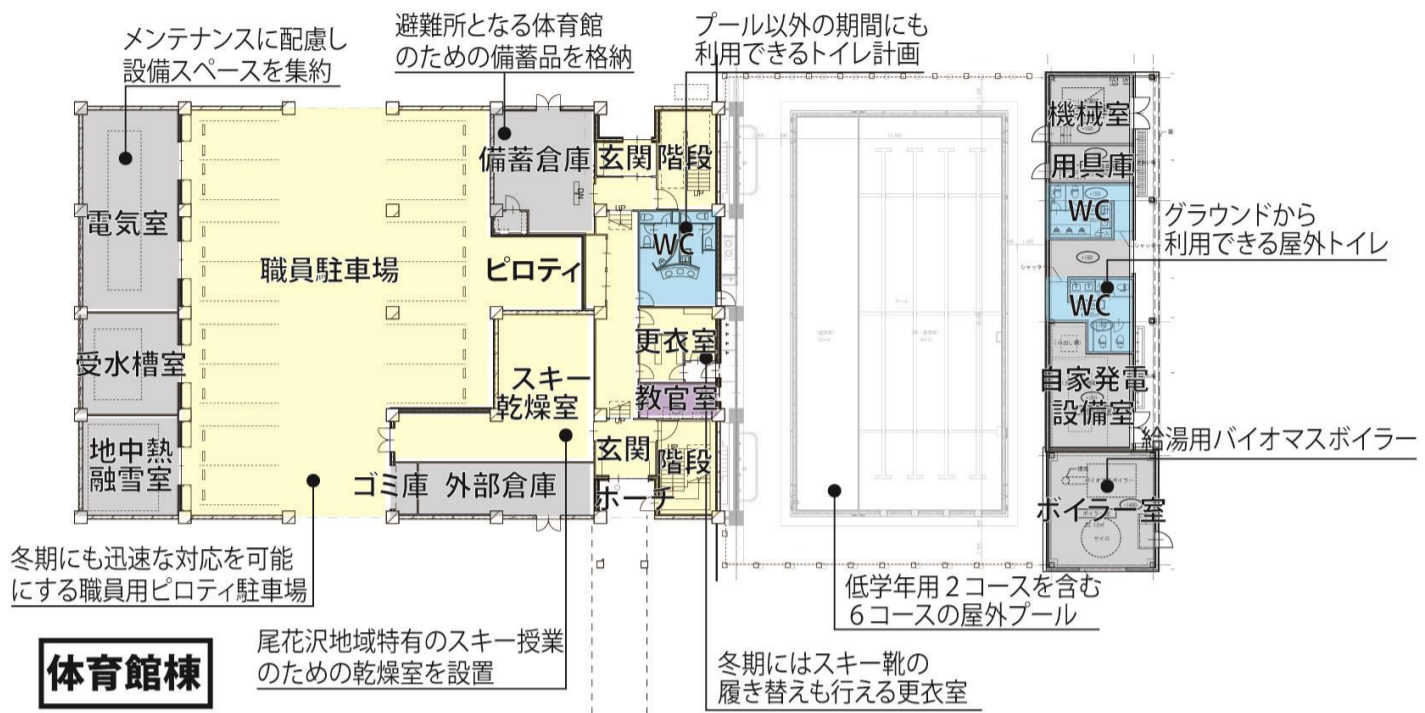
- ・校舎棟の2階と3階の中心にラーニングコモンズを配置します。
- ・校舎棟の中心に位置し、各学年の多目的スペースが近接することで、様々な活動と一体的な賑わいを生み出します。
- ・2階と3階を大階段でつなぎ、「調べる」「まとめる」「発表する」という一連の学習を可能にします。



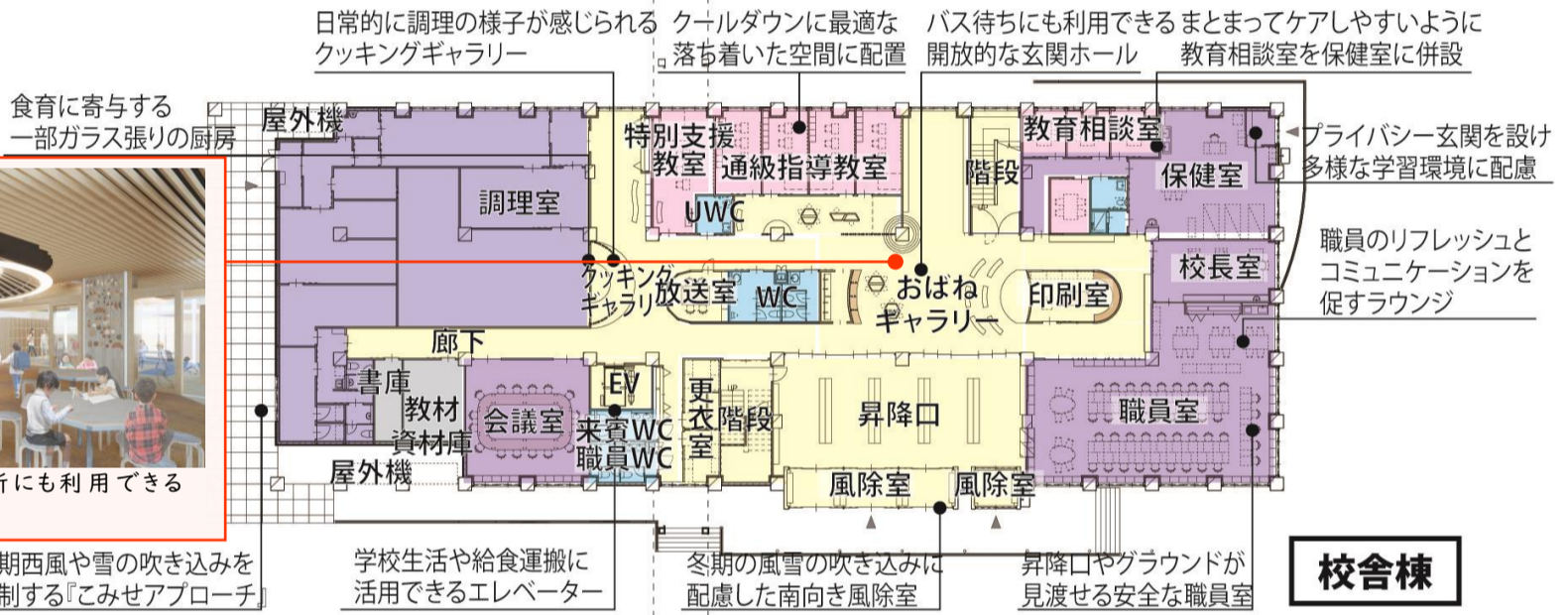
4. 配置図



5. 平面計画(1階)



体育館棟

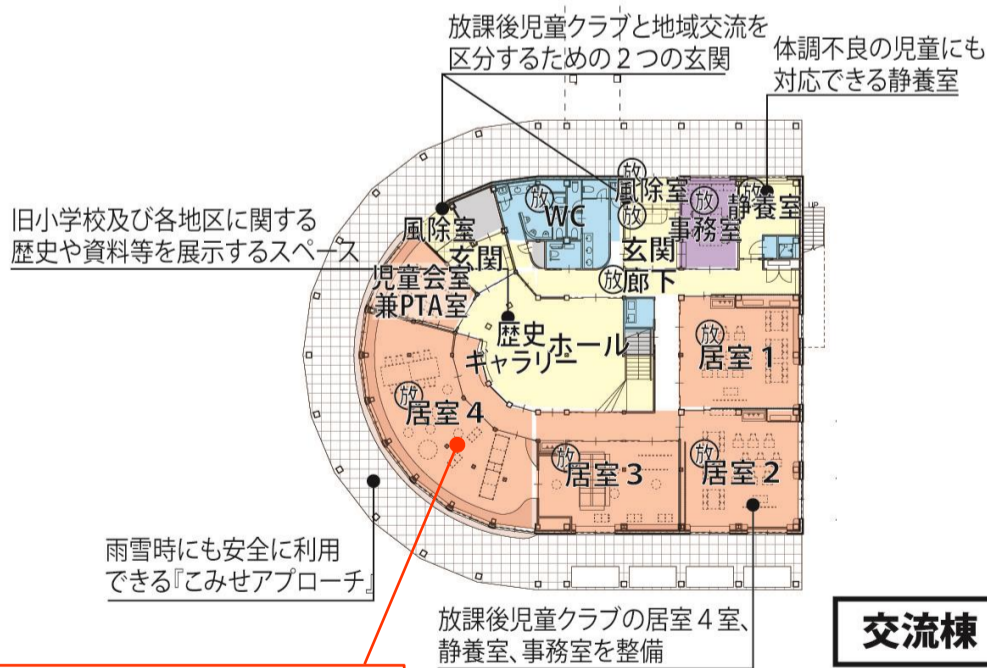


校舎棟

凡例

- 教室エリア
- 特別教室エリア
- 職員エリア
- 共用エリア
- 交流エリア
- WC・水回りエリア
- 厨房エリア
- 収納・倉庫・設備エリア
- Ⓜ ●● 放課後児童クラブエリア

※普通教室の学年番号は仮配置であり、実際の配置とは異なる場合があります。



交流棟

1階

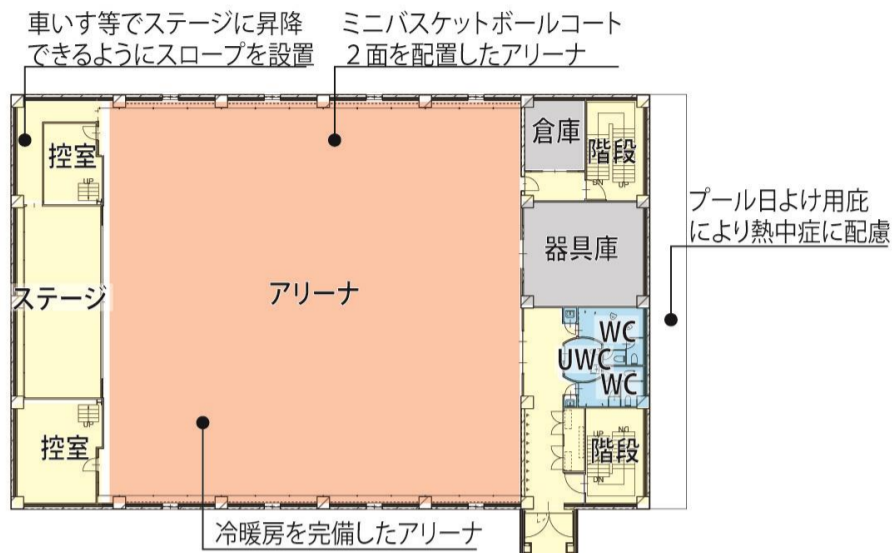


交流棟 1階の放課後児童クラブ居室4

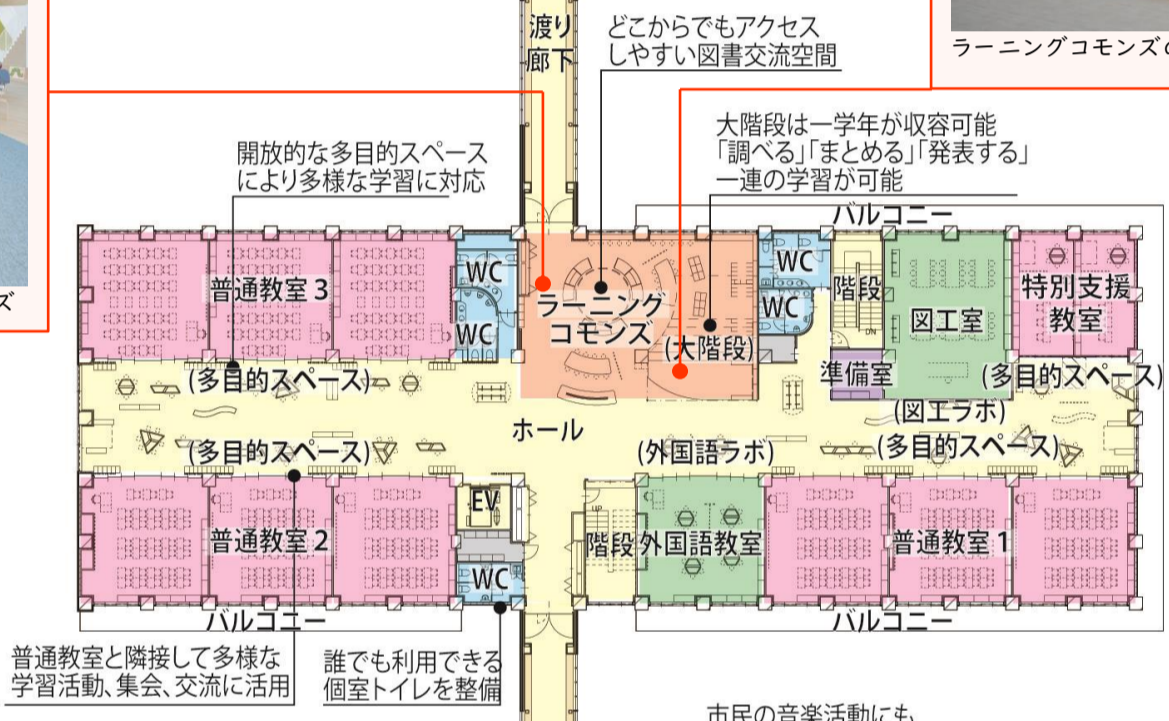


5. 平面計画(2階)

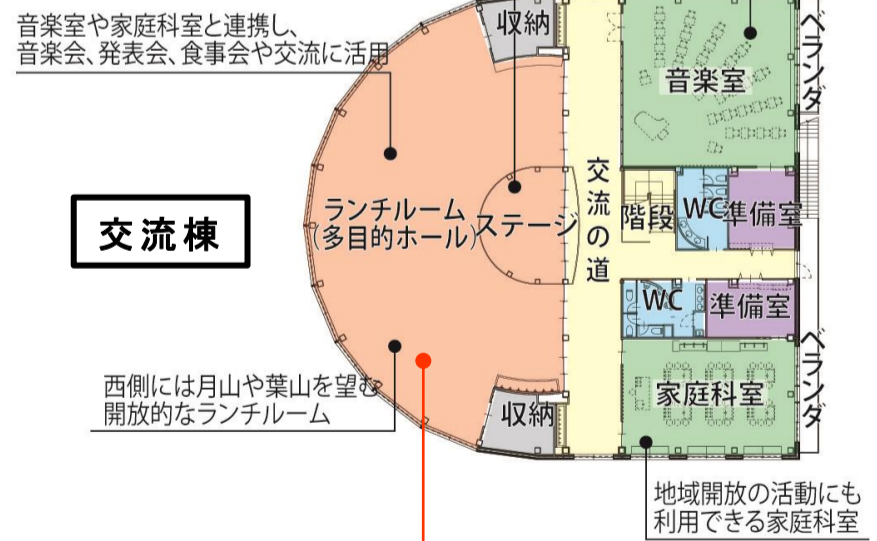
体育館棟



校舎棟



交流棟



凡例

- 教室エリア
- 特別教室エリア
- 職員エリア
- 共用エリア
- 交流エリア
- WC・水回りエリア
- 厨房エリア
- 収納・倉庫・設備エリア
- 放課後児童クラブエリア

※普通教室の学年番号は仮配置であり、実際の配置とは異なる場合があります。

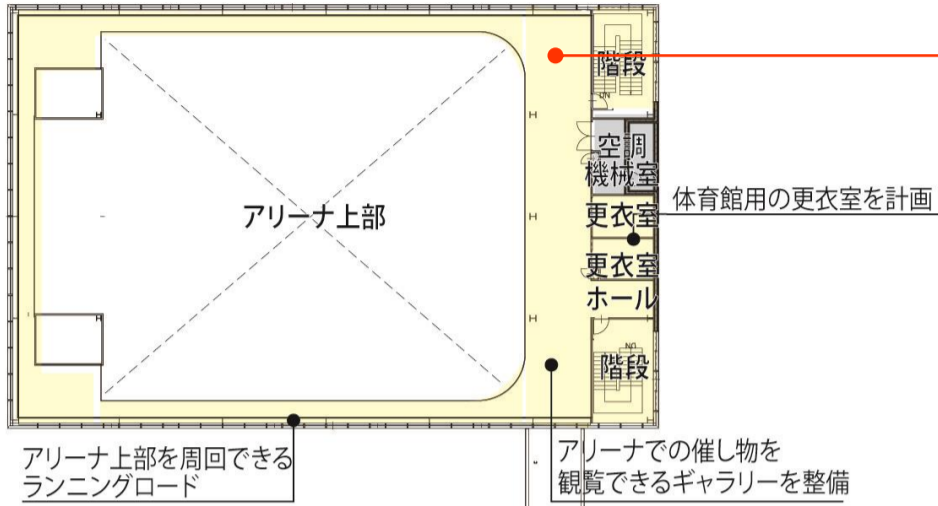


2階

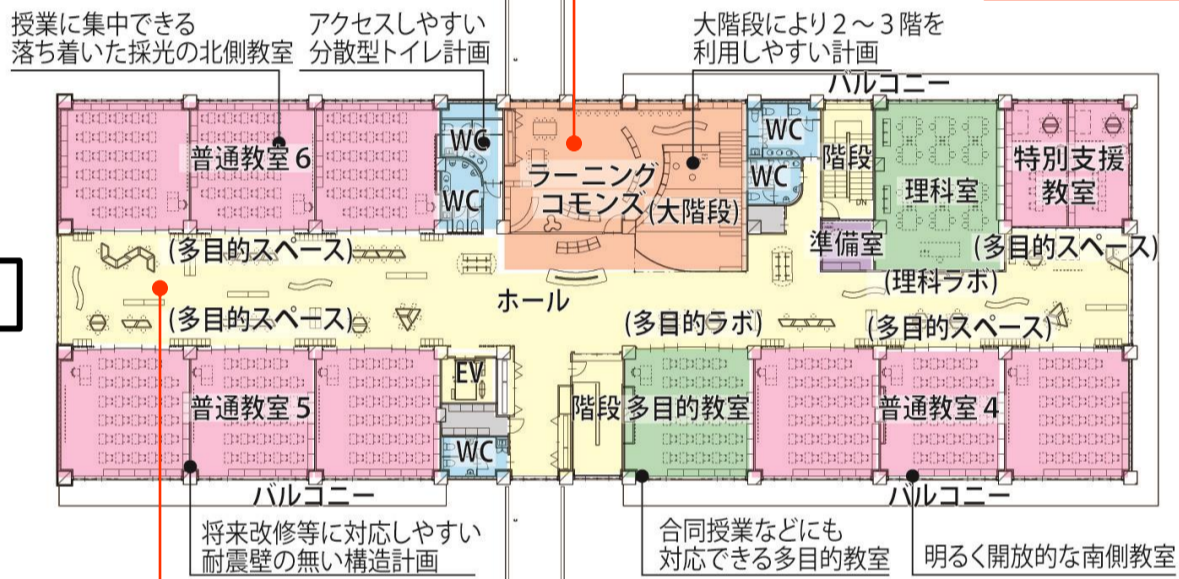


5. 平面計画(3階)

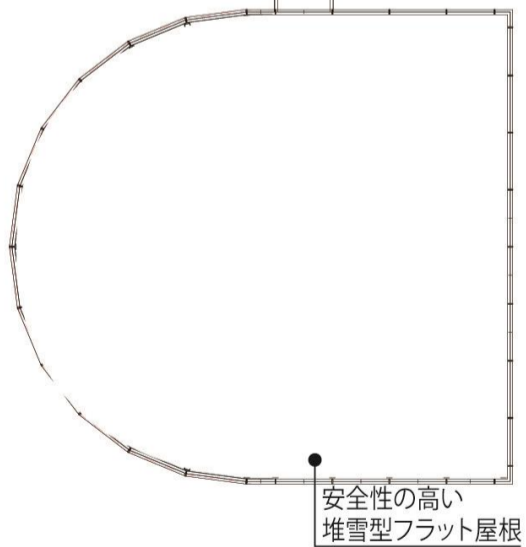
体育館棟



校舎棟



交流棟



凡例

- 教室エリア
 - 特別教室エリア
 - 職員エリア
 - 共用エリア
 - 交流エリア
 - WC・水回りエリア
 - 厨房エリア
 - 収納・倉庫・設備エリア
 - 放 放課後児童クラブエリア
- ※普通教室の学年番号は仮配置であり、実際の配置とは異なる場合があります。

3階



6. パース図(内観、外観の完成予想を写真のような立体で表現した図)



西側車両出入口から目線の高さで見た外観図



昇降口から入るとバス待合所にも利用できる
おばねギャラリー



普通教室と普通教室の間にある多目的スペース



校舎棟2階中心に位置するラーニングcommons



校舎棟3階中心に位置するラーニングcommons



ラーニングcommonsの2階と3階をつなぐ大階段



交流棟1階の放課後児童クラブ居室4



交流棟2階のランチルーム兼多目的ホール



体育館棟3階の観覧ギャラリー・ランニングロードから
アリーナをのぞむ

7. その他の計画

◆豪雪地帯にふさわしい学校

- ・コンパクトでシンプルな建物にすることで、屋根面積を少なくして積雪量を最小限に抑えます。
- ・屋根雪の落雪による事故を防止するため耐雪型の屋根とし、雪庇ができないように屋根の周囲に融雪装置を設置します。
- ・作業性が良くシンプルな機械除雪動線を確保します。
- ・堆雪場を敷地周辺部に適切に確保します。
- ・除雪機械が作業しやすいように3棟間を適度に離し、渡り廊下の高さを確保します。
- ・児童が雨雪を避けて安全に登下校できるように、昇降口への通路に「こみせアプローチ」を設置します。
- ・西側1階部分にルーバーを設置して雪の吹込みを防止します。
- ・北西風を避けた出入口の設定とします。

◆尾花沢らしさの表現

- ・花笠踊り発祥地にちなんだシンボルとして、おばねギャラリーとラーニングcommonsに「みんなの笠」、多目的ホールに「花笠小屋組」を設置します。
- ・周辺の田園風景や御所山、葉山、月山などの雄大な山々が望めるようにします。

◆建物の耐久性の向上と自然素材・地場産材の活用

- ・交流棟は内部を木造、外周は豪雪地帯での耐久性を考慮した鉄骨造にします。校舎棟、体育館棟は耐震性と耐久性に優れた鉄筋コンクリート造とし、内装には地場の木材を多用することで、明るく温もりのある学習空間にします。
- ・建物外周にバルコニーを設け、直射日光の差し込みを防ぐとともに、外壁や開口部の劣化や汚れの付着を抑制します。

◆再生可能エネルギーの活用

- ・交流棟及び校舎棟の「こみせアプローチ」に地中熱ヒートポンプによる融雪設備を設置し、冬期間の安全な登下校を確保します。
- ・維持管理の容易な個別空調方式を採用し、ラーニングcommons、ホール、ランチルームなどの天井が高く底冷えする所には、補助暖房としてペレットボイラーによる床暖房を採用します。

◆体育館の環境改善

- ・体育や行事の際の熱中症対策を図るとともに避難所機能を強化するため、冷房用空調機と床暖房及びパネルヒーターを設置します。
- ・地域の避難所として、備蓄倉庫や自家発電機、Wi-Fi等情報通信環境を整備します。

◆安全・安心な教育環境

- ・通用口、玄関、死角になる場所に防犯カメラを設置し、警察署直通の110番非常通報装置を設置します。